



ご利用料金

■着陸料

区 分	着 陸 料
最大離陸重量が6トン以下の航空機	着陸1回につき1,000円
最大離陸重量が6トンを超える航空機	着陸1回につき700円に6トンを超える部分1トンにつき590円を加算した額

※1トン未満の重量は1トンとして計算します。

減 免 率	月当り着陸回数が、51回以上100回以下の部分	20%割引
	月当り着陸回数が、101回以上の部分	40%割引

■停留料 停留料は6時間以上停留する場合に発生します。

区 分	停 留 料
最大離陸重量が3トン以下の航空機	停留時間24時間までごとに810円
3トンを超え6トン以下の航空機	停留時間24時間までごとに1,620円
6トンを超え23トン以下の航空機	停留時間24時間までごとに1,620円に6トンを超える部分1トンにつき30円を加算した額

※1トン未満の重量は1トンとして計算します。また、24時間未満は24時間として計算します。
(最大離陸重量が23トンを超える航空機の停留料については、空港事務所へお問い合わせください。)

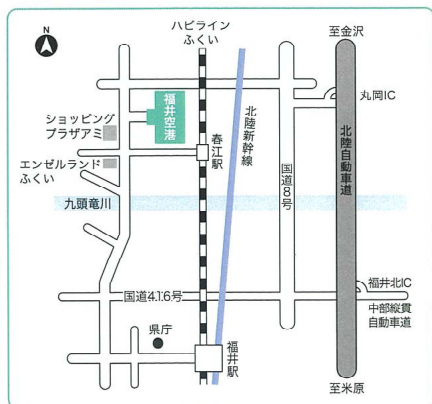
減 免 率	停留時間が72時間を超え168時間以下の部分	20%割引
	停留時間が168時間を超える部分	40%割引

※着陸料・停留料は以上の金額に消費税および地方消費税を別途加算した額になります。



交通アクセス

- JR福井駅から車で約30分
- ハビラインふくい春江駅から徒歩約25分
- 北陸自動車道丸岡ICから車で約15分



福井県公式観光サイト
ふくいドットコム



福井県福井空港事務所・福井空港振興協議会

〒919-0412 福井県坂井市春江町江留中50-1-2
TEL: 0776-51-4066 FAX: 0776-51-4102
E-mail: kuuoku@pref.fukui.lg.jp

福井県土木部港湾空港課

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL: 0776-20-0488 FAX: 0776-20-0660
E-mail: kowan@pref.fukui.lg.jp
HP: <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kouwan/index.html>



令和6年9月発行

福井 空港

参考資料②



福井空港振興協議会



利活用状況

福井空港は、現在、定期便の就航はありませんが、

- ▶ 空から県民の安全、安心な暮らしを守る防災ヘリ、警察ヘリ、ドクターヘリの活動拠点施設
- ▶ 災害時の救援基地
- ▶ 自家用および事業用の小型機、ヘリの離着陸施設（離着陸の時間、エプロン内でのハイヤー等への乗り継ぎに柔軟に対応）
- ▶ 操縦士ライセンス取得の訓練施設
- ▶ グライダー訓練の聖地
- ▶ JAXA等による研究開発の場

など、幅広い分野で活用されています。



プロモーション動画

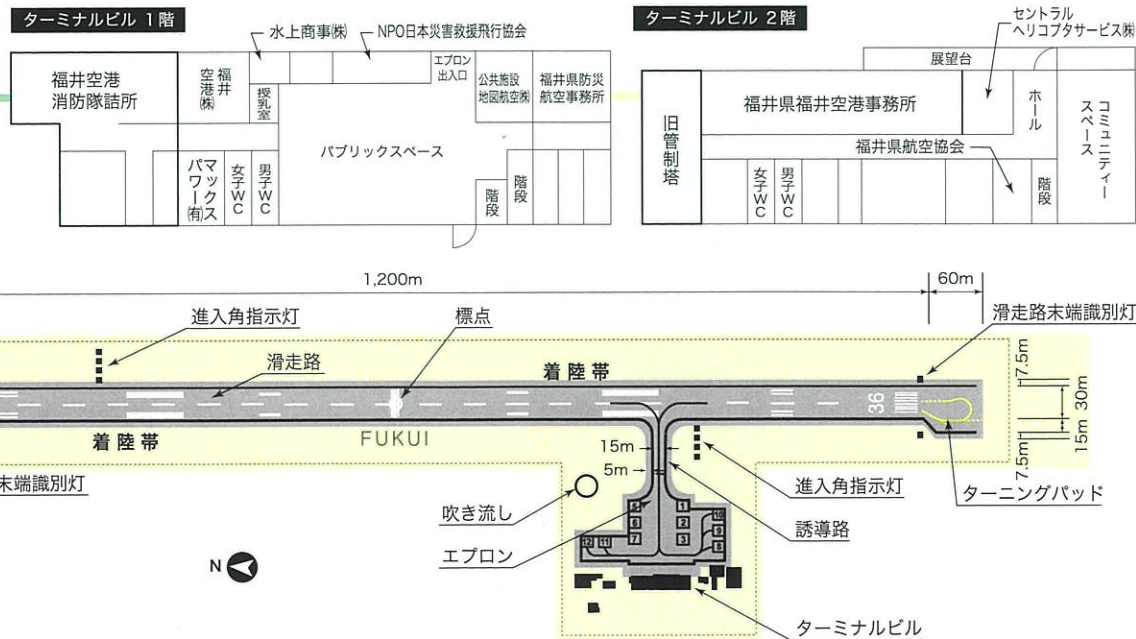


沿革

1961年 6月	福井県総合開発計画策定	2003年 6月	福井空港事務所に事務所名変更 拡張整備計画の中止を決定
1962年 6月	春江町江留中に空港建設を決定	2005年 3月	滑走路、誘導路、エプロンの全面舗装補修
1964年 5月	空港整備工事起工	2006年 3月	場周柵、末端識別灯、予備発電機等更新 防火水槽、エプロン灯設置
1966年 3月	空港整備工事竣工		
4月	福井県福井空港管理事務所開所	9月	国土交通省大阪航空局福井空港出張所開所
	気象庁福井地方気象台福井空港出張所開所	10月	福井空港の管制業務を中部国際空港からの遠隔管制 (RAG)に移行
6月	福井空港開港（定期便就航）6月30日	2007年 2月	気象庁東京航空地方気象台 福井空港出張所開所
	運輸省大阪航空局福井空港出張所開所	3月	気象庁東京航空地方気象台 福井航空気象観測所開所
8月	日本学生航空連盟関西支部グライダー訓練開始	2010年 9月	日本最大の航空スポーツイベント「スカイ・レジャー・ ジャパン'10 in 福井」開催
1971年 3月	進入角指示灯、滑走路末端識別灯設置（5月供用開始）	2011年 1月	NDB廃止により計器進入出発方式をRNAV方式に変 更
1976年 4月	定期便休航	2017年 2月	化学消防車1台配備
1985年 3月	現空港の拡張整備計画決定	2020年 10月	誘導路・エプロンにおける航空法変更許可に係る施行
1987年 5月	福井県福井空港建設調査事務所設置	2021年 5月	ドクターヘリ配備
1990年 4月	福井県福井空港管理事務所が 福井県福井空港建設調査事務所に統合	10月	管制業務が大阪対空センターからの遠隔管制（RAG） に変更
1991年 2月	福井県警察航空隊ヘリコプター配備	2023年 3月	「福井空港の将来像と今後の取組方針」策定
1994年 8月	進入角指示灯（P A P I）設置（12月供用開始）		
1997年 3月	福井県防災ヘリコプター配備		
2001年 9月	拡張整備計画の当分の間の「凍結」を決定		
2003年 3月	福井空港利活用推進計画策定		



平面図



福井空港を基地としているヘリコプター

福井県防災航空隊

形式：川崎式BK117C-2型
愛称：ブルーアロー



救急活動や遭難・事故者等の救助活動、
林野火災等の火災防御活動、災害応急対
策活動などの防災活動に従事しています。

福井県警察航空隊

形式：ユーロコプター式EC135T2+型
愛称：くずりゅう



ヘリコプターの機動性・広視界性を生かして、
空からの警備・交通パトロールなどの
警察活動に従事しています。

福井県ドクターヘリ

形式：川崎式BK117C-2型



救急医療に必要な医療機器や医薬品等が整備
され、医師と看護師が搭乗して救急現場に向か
い、救命医療を行う専用のヘリコプターです。



施設概要

名 称	福井空港
設 置 管 理 者	福井県
位 置	福井県坂井市春江町江留中 北緯36度8分22.8秒 東経136度13分36.2秒（日本測地系表示） 北緯36度8分34秒 東経136度13分26秒（世界測地系表示） 標高5.40m
飛行場の種類および着陸帯の等級	陸上空港 F級 長さ1,320m×幅120m
敷 地 面 積	270,632.69㎡
基 本 施 設	滑走路 長さ1,200m×幅30m 真方位N175度45分E オーバラン 長さ60m×幅30m 誘導路 長さ86m×幅15m エプロン 11バース（1バースあたり14m×12m）8,634㎡
ターミナルビル	鉄筋コンクリート造2階建 一部3階（旧対空通信室）延床面積1,521.16㎡
無 線 施 設	VHF対空通信施設（福井RADIO：118.6メガヘルツ）
気 象 観 測 施 設	風向・風速、気圧、気温等の各観測施設
給 油 施 設	レフューラー方式
飛 行 場 灯 火	進入角指示灯 8基（2セット） 滑走路末端識別灯 4基（2セット）
運 用 時 間	午前9時から午後5時まで（午後5時までに日没となる場合は日没まで）
制 限 表 面	進入表面：1/30、長さ3,000m 転移表面：1/7 水平表面：高さ45m 半径1,800m
計器進入出発方式	RNAV方式

■用語の解説 VHF…超短波無線 レフューラー方式…燃料タンクを積んだ車両から航空機へ給油する方式
RNAV方式…航空機がGPS等を利用して自機の位置と飛行ルート算出して飛行する方式



空港を利用するグライダー



隔年開催「スカイフェス2023」の様子



空港を利用する小型機



福井空港を基地に、航空機による救命医療、災害救助が行われています。